

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年11月7日（木）
- 2 確認箇所  
2号機原子炉建屋（図1）  
※作業状況を遠隔操作室において確認
- 3 確認項目  
2号機燃料デブリ試験的取り出し作業の状況
- 4 確認結果の概要

2号機においてテレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）による燃料デブリ※試験的取り出し作業が8月22日から実施されており、9月9日にテレスコ装置先端部が原子炉格納容器（以下「PCV」という。）隔離弁を通過、作業着手となった。

その後、テレスコ装置先端カメラの不具合等により、作業が一時中断されたが、復旧が完了したことから10月28日に取り出し作業が再開された。

その後、10月28日に燃料デブリ把持・吊り上げに成功し、11月5日には採取した燃料デブリの表面線量測定が行われ、取り扱える線量（20cm離隔にて24mSv/h以下）であることが確認された。

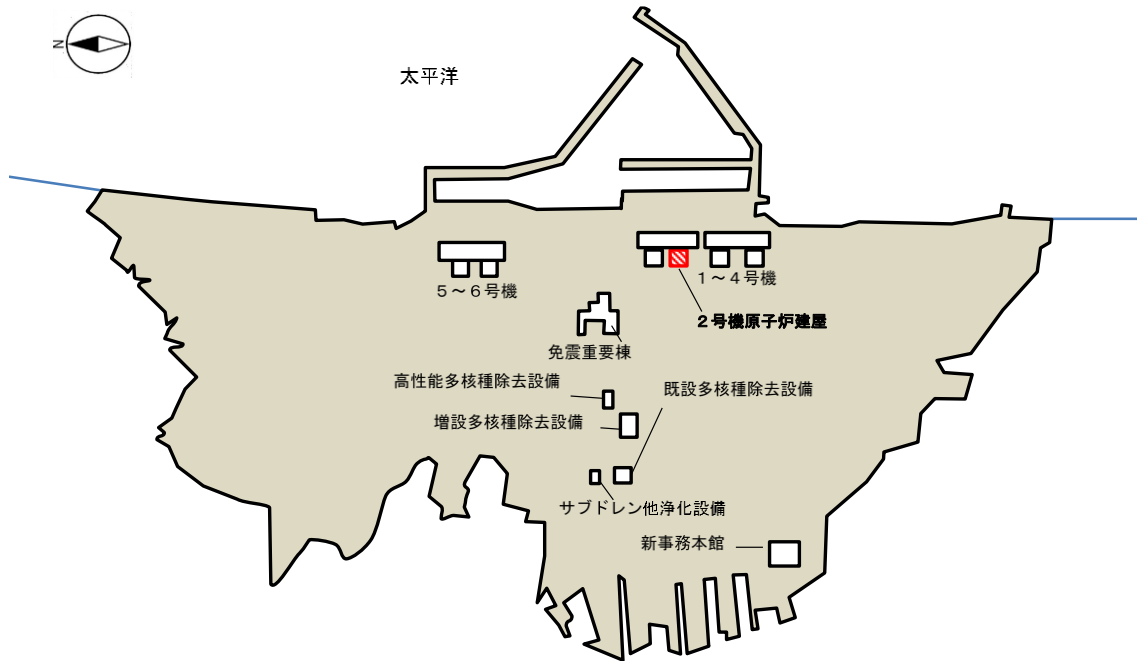
本日は、燃料デブリをエンクロージャ（テレスコ装置を格納する筐体）から取り出し、建屋内運搬容器に収納する作業が実施されることから、その状況を確認した。（前回確認：[令和6年10月30日](#)）

### 【確認結果概要】

- ・ 9時43分にエンクロージャ側面のハッチが解放された。
- ・ 11時31分にエンクロージャから燃料デブリが入った容器が取り出された。
- ・ 11時40分に建屋内運搬容器への収納が完了した。
- ・ 作業中、エンクロージャ内の圧力およびエンクロージャ近傍に設置されたダストモニタの指示に異常は確認されなかった。

### ※ 燃料デブリ

過熱した燃料が燃料被覆管や炉内構造物等とともに溶融し、その溶融物が冷えて固まったもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。